

令和7年度福生市廃棄物減量等推進審議会記録（概要）

■日 時 令和7年10月2日（木）午後2時00分から午後3時30分まで

■場 所 福生市役所 庁議室

■出席者 撲梅会長、千葉副会長、関口委員、高木委員
小高委員、平瀬委員、栗原委員 計7名

■事務局 加藤市長、鈴木生活環境部長、薬袋ごみ減量対策課長
山岡ごみ減量対策係長、木村リサイクルセンター係長
坂口ごみ減量対策係主事 計6名

1 開会

進行：鈴木生活環境部長

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

加藤市長

4 自己紹介（委員及び事務局職員）

5 会長・副会長の選任

委員より会長に撲梅委員、副会長に千葉委員との提案があり、全員が承認

6 会長・副会長の挨拶

7 議題

（1）令和6年度ごみ処理実績の報告について

ごみ量が減少して、総資源化率は上昇していることを報告

（2）福生ごみナビについて（外国人のごみの出し方について）

令和7年3月15日から18言語に対応している福生ごみナビを試験運用して

おり、利用状況や利便性等を見極めて令和8年度から本格導入するかを検討していくと報告

(3) 廃食用油の回収について

東京2025世界陸上の開催に合わせて、東京都と連携して持続可能な航空燃料「S A F」の原料となる廃食用油の回収を実施していることを報告

(4) ごみ総合受付センターの状況について

令和6年度から開始したごみ総合受付センターの状況を報告

- ア 問合せ受付件数……6,492件
- イ 粗大ごみ申込件数…14,109件（ネット43.1%、電話56.9%）
→ネット申請のうち77.8%がオンライン決済
- ウ 臨時ごみ申込件数…1,823件（ネット22.7%、電話77.3%）
- エ し尿申込件数……312件（ネット88.8%、電話11.2%）

(5) 指定収集袋の統一化について

昨年度も報告をした指定収集袋の西多摩衛生組合構成市町との統一化について、継続して検討していることを報告

(6) 廃棄物処理手数料の見直しについて

昨年度了承をいただいた指定収集袋及び事業系ごみの廃棄物処理手数料の見直しについて、事業系ごみの手数料を1キログラム当たり40円から42円に変更したい旨を提案し全員の了承を得た。

(7) リサイクル施設の一元化について

継続して検討を行っていることを報告

(8) 製品プラスチックの再商品化及び収集方法について

現在、独自ルートでリサイクルしている製品プラスチックについて、法によるルートでのリサイクルも検討していることを報告。収集方法は当面は現状を維持し、将来的には一括収集や有料化を検討することも考えられる。

(9) 資源回収実施団体報償金制度の見直しについて

対象団体、対象品目、申請方法等を見直すことを提案

→この制度により地域の繋がりが保たれている面もあり、ごみの減量や資源化推進の意識醸成も図られているため、制度を維持してほしい。また、地域活動の貴重な収入源となっており、ペットボトルを対象品目として維持してほしいとの意見があった。